



左から有姫さん・好美さん・奈央さん・佳夏さん

### 蔵持町から3人の参加者

蔵持町原出の久保田家から奈央(なお)さん(高1・15)、好美(このみ)さん(中3・14)、佳夏(かな)さん(小5・10)の3姉妹が参加した。3人は異口同音に「初めは難しかったが、だんだん面白くなった」「いつもの神社っぽくない衣装が、すなおに踊れて、かわいくて素敵だった」と達成感を交えて語った。応援に来ていた長女の有姫(ゆうき)さん(高3・17)は「丁度ニュージージラランドでのホームステイと重なっていたので」「参加しなかったが残念だった。妹たちはよく頑張って素敵だった」と話した。

作舞・作曲の岡さんは「斎宮から都に帰る途中に、馬酔木を手折って見せようと思った弟はもういない、という古代の心情を表現しようと思った。難しい舞と音楽を、子ども達は楽しく練習してくれた」と喜んだ。大橋プロデューサーは「素晴らしい!やりきれた!伊勢神宮から偉い先生がやってきて口伝で教える。毎回変更

がある。今の音楽と違って非常にゆっくりしていて難しい。伊勢神宮の伝統を体験できた。「納めましよう」で退出した直後、雨が降り出したのも何かに守られている気がする。新しい伝承のスタートに相応しかった」と手応えを感じていた。名谷代表は「涙が出てきました。子ども達が本来持っている力を出してくれました。練習を通して日本人が本来持っている四季折々の感覚と力を子ども達が感じてくれた。今の幸せをかみしめて、持っている力を未来に發揮して欲しい」と、ひめぼたる達に感じる肉親のような心持ちを話した。

### ひめみこ昌福餅開発

今回協賛した人々には、地元のと菓子店で新たに開発した餅が手渡された。これは、ひめみこのイメージのピンクと、金堂の黄色の柚子餡が入った「ひめみこ昌福餅」で、新しい名張の土産になれば、という思いも込められている。



ピンクと黄色の餡が美しい「ひめみこ昌福餅」



### 宇流富志禰神社・春季例大祭出演

4月19日、ひめぼたる達は宇流富志禰神社(名張市平尾)の春季例大祭において奉納演目の最後に拜殿で舞を披露した、地元で新しい伝承のスタートを切ったことになる。今後は伊勢神宮との大合同盆踊り大会への出演等が予定されている。

### 【入団オーディション】

新しいメンバーの入団オーディションが6月に予定されている。詳しくは、「隠 夏見ひめぼたるプロジェクト」代表の名谷さん(090-1813715924)まで。